

島根新春能

令和四年 一月三十日(日)
午後一時 開演(正午開場)
於 島根県民会館 大ホール

親世流 能 安宅 勳進帳 瀧流之伝

シテ/武藏坊弁慶 ツレ/岡山	井上 裕久 田茂井廣道 樹下 千慧 河村浩太郎 河村 紀仁 谷 弘之助 河村 和貴 大江 泰正 大浦 豊彦 杉浦 豊彦 味方 慧 福王茂十郎 茂山千之丞 茂山七五三	後見	片山九郎右衛門 髷見 雅久 大江 信行 地謡 雅夫 青木 道喜 木橋 正邦 古越 隆之 賀分 道治 浦部 幸裕 吉田 寛史 宮本 茂樹
子方/義経 ワキ/富樫某 アイ/太刀持 アイ/強力	森田 保美 河村 吉兵衛 木村 大		
笛 小鼓 大鼓			

—— 休憩十五分 ——

大蔵流 狂言 千鳥

太郎冠者 主人 酒屋 後見	茂山 茂 島田 洋海 茂山 宗彦 井口 竜也
------------------------	---------------------------------

金剛流 一調 蟬丸

謡 小鼓	種田 道一 曾和 鼓堂
---------	----------------

(三時三十分頃) 親世流 能 石橋 大獅子

シテ/智 親シテ/白獅子 ツレ/彦獅子	後見	大江又三郎 味方 玄 松野 浩行 深野 貴彦 河村 和重 河村 保浩 福王茂十郎 茂山千五郎 杉 伸太郎 曾和 鼓堂 河村瀧太郎 井上 敬介	地謡	河村 保浩 河村 和重 河村 保浩 晴道 晴道 仲春 團 橋本 光史 橋本 忠樹 橋本 千慧 谷 弘之助 寺澤 拓海 河村 紀仁
ワキ/祝明法師 アイ/セガリ仙人				
笛 小鼓 大鼓 太鼓				

(終了予定 四時半頃)

能 安宅 勳進帳 瀧流之伝

力強い能の代表作で、能では珍しい創的な起伏と緊張に富んでいる。平家討伐に最も功があった源義経も今は北朝朝から追われる身となり、弁慶より北條時行と対峙する。安宅の関にて足止めされたが、弁慶が



シテ 井上 裕久

狂言 千鳥

主人から、いつもの酒屋で代金なしに酒を求めてくるよう言いつけられた太郎冠者。今日はお代を持ってきたと偽って酒樽をもらって帰ろうとするが、酒屋に取り戻される。そこで酒樽を酒屋に置いて、狂言の語を論じ、再び千鳥の様子を詠る間に、千鳥に見立てた酒樽をもって逃げようとするがー。

一調 蟬丸

互いの非違を嘆き合う鳥子姉弟、逆髪と蟬丸の姿を描いた世阿弥の作品。逆髪は、その名の如く頭の髪が上に向かって逆さまに生え、狂乱となっている。逆髪が都を彷徨い回っていると、いつしか都の境・逢坂山へ着く。一調では、清水に我が身を映して見えたあましましに愛に嘆く(遊行)の場面を、流麗な詞章、都付にて演じ、詩情の世界をつくる。「一調」は、一曲の謡いごとを、一つの打楽部と一人の唄い手で演奏。常とは異なる手で打ち、能一筋に四散する重みがある。

能 石橋 大獅子

獅子が躍動的に舞う様子は、能の演目の中で特に雄壮で豪華。仏縁を起り居る清涼山に到った寂照法師が現世と浄土をつなぐ石橋を渡ろうとする、本この老人が現れる「この橋は我が一尺に流す水、長石三を越え、谷は深く、容れず人面が覆れるものではない」と制止し、姿を消す。やがて文殊菩薩の使者である獅子が現れ、橋を自在に飛び渡り、咲き匂う紅白の牡丹の花に戯れ、秋万歳を祝い舞い納められた。歌舞伎舞踊「迷獅子」のものになった。



シテ 浦田 保親

◆新型コロナウイルス感染症予防対策として、入場時のマスク着用(手拭い消菌「速乾型」先入れ)、会場でのソーシャルディスタンスの確保(会場内を流れるごみ箱をお使いし、持ち帰り、体調が優れない場合は、事前に帰場のご連絡をお願いいたします。)

◆許可なき撮影・録音・録画はお断りいたします。

◆上演中は、携帯電話など音や光を発する機器の使用はお断りください。

◆事故防止のため、出演者や他が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

芸術写真/印刷井上裕久(ワシダ写真工房 撮影)
石橋/浦田保親(佐の舞臺21写真美術部)

弁慶と義経 勳進帳で関を突破

安宅



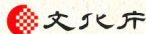
牡丹に獅子 平和を願って舞う

石橋

日本全国 能楽キヤラバン!

能の名作で新春を寿ぐ

島根新春能



文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキヤラバン事業



日本全国 能楽キヤラバン!

日時 令和4年 1月30日(日)
午後1時 開演(正午開場)

料金 全席自由
一般 4,000円 学生 2,000円

会場 島根県民会館 大ホール
島根県松江市殿町158

チケット発売所
・島根県民会館チケットコーナー
TEL.0852-22-5556(営業時間:10時~18時)
・島根県民会館オンラインチケット「シマチケ」
https://piagetil.e-get.jp/shima_tk/pt/



主催:公益社団法人能楽協会、公益社団法人京都観世協会
後援:島根県、島根県教育委員会、松江市、松江市教育委員会、山陰中央新報社、BSS山陰放送、日本テレビ、TSKさんいん、中央テレビ、エフエム山陰

お問い合わせ
京都観世会事務局(京都観世会館内)
TEL.075-771-6114 <http://kyoto-kanze.jp>